

第4次別府市総合計画

～地域を磨き、別府の誇りを創生する～



令和2年3月
別府市

地域を磨き、別府の誇りを創生する

―第4次別府市総合計画策定にあたり

別府市は、令和2年度から9年度まで8年間にわたる「第4次別府市総合計画」を策定いたしました。本計画は、「地域を磨き、別府の誇りを創生する」ために、将来に向かいめざすべき姿とその実現に向けた施策の方向性を示しています。

私たちのまち「べっふ」は豊富な温泉や豊かな自然に恵まれ、日本有数の観光都市として、古くから多くの観光客を受け入れてきました。

また、留学生や障がいを持つ方など多様な背景の人々が共生するまちでもあります。「ひと」が最も重要で貴重なかけがえのない「財産」であるとの認識のもと、地域の宝である温泉・歴史・伝統・文化・産業を徹底的に磨き上げ、最大限に活かすとともに、新しい価値を創造することにより、将来にわたり「市民の幸福」が持続可能なまちの実現を目指してまいります。

新しいものを取り入れていく感性と受容力が根付く別府だからこそ、市民の皆さんが別府に誇りを持ち、子どもたちに別府のことを心底好きになってもらい、別府以外の方々には「別府はすごい」と思ってもらおう。そして、「別府に住みたい」「別府に住み続けたい」と言ってもらえるような「まちづくり」を実践し、市民の皆さんや本市に関係する多くの方々と想いを共有し、ともに考え、協力しながら進んでまいりたいと思います。

結びに、計画策定にあたり御議論いただき、貴重な御意見・御提言をいただきました別府市総合計画・総合戦略策定審議会の委員の皆さまをはじめ、関係各位に深く感謝申し上げますとともに、これからも別府を大切に、まちづくりに挑戦し続けることをお誓い申し上げて、御礼の言葉といたします。

令和2年3月

別府市長 長野 恭 紘

目次

第1 計画策定に当たって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の構成及び計画期間	1
3 将来人口フレーム	2
第2 別府市を取り巻く環境	3
1 観光・産業	3
2 健康・福祉	3
3 子育て・教育	4
4 都市基盤	4
5 環境・暮らし	4
6 協働・コミュニティ	5
7 行財政運営	5
8 SDGs (Sustainable Development Goals)	6
第3 めざす姿と施策の基本的方向性	7
政策1：観光・産業	10
政策2：健康・福祉	12
政策3：子育て・教育	14
政策4：都市基盤	17
政策5：環境・暮らし	20
政策6：協働・コミュニティ	22
政策7：行財政運営	24
第4 施策の実施と成果の検証	25
資料編	26

第1 計画策定に当たって

1 計画策定の趣旨

別府市（以下「本市」という。）は、2011年（平成23年）3月に、2020年度を目標年度とする基本構想と、2015年（平成27年）度为目标年度とする前期基本計画を策定し、前期基本計画の計画期間が終了する2016年（平成28年）3月に2020年度为目标年度とする後期基本計画を策定した。

今回、後期基本計画と一体的に策定した「まちをまもり、まちをつくる。べっぷ未来共創戦略」（以下「未来共創戦略」という。）が2019年度をもって計画期間が終了することから、あわせて、2020年度を始期とする新たな総合計画を策定することとした。

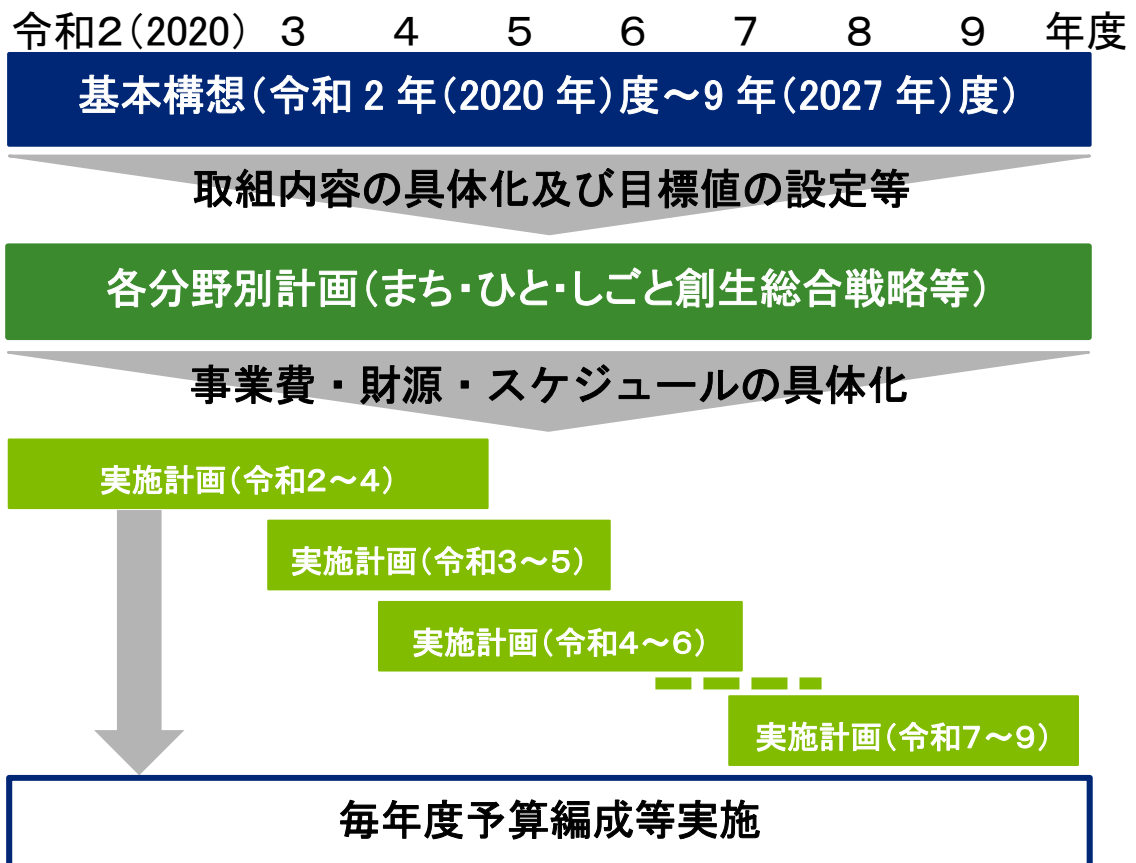
なお、新たな総合計画は、市政における基本的な方針を示すものとし、未来共創戦略等の分野別計画により具体化した取組内容について、毎年度策定する実施計画において事業費や財源等を具体化し、計画的な行政運営を行うこととしている。

2 計画の構成及び計画期間

上記計画策定の趣旨に示したとおり、市政における計画は、基本的な方針を示す基本構想と、具体的な施策を示す分野別計画、事業費や財源の配分を踏まえた実施計画で構成することとなり、毎年度その計画を基に予算や人員が具現化されたうえで実行されることとなる。

なお、今回策定する基本構想の計画期間は、2020年（令和2年）度から2027年（令和9年）度までの8年間とする。ただし、その間に、社会経済情勢の変化など、本市を取り巻く状況に大きな変化が生じた場合等においては、計画期間中であっても必要に応じて見直すこととする。

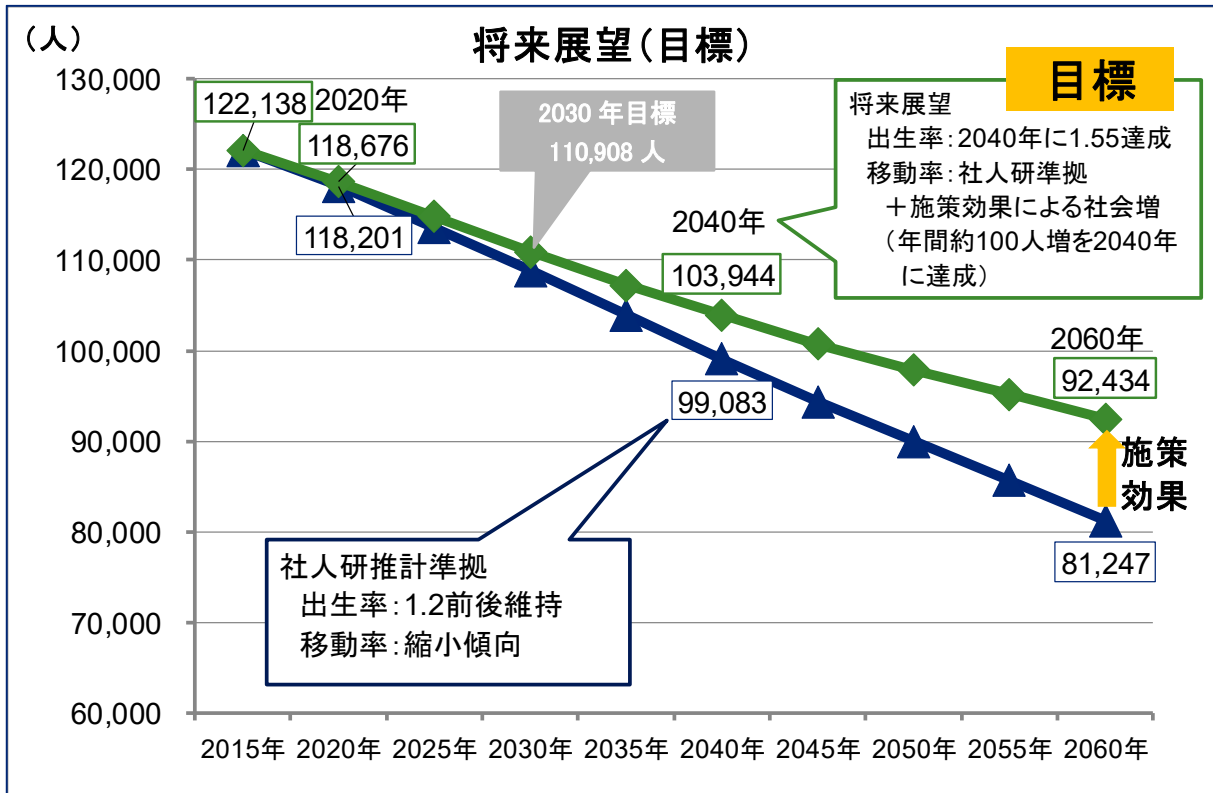
実施計画の計画期間は、3年間のローリング方式とし、毎年度見直しを実施し、調整を図り、予算編成を行う。



3 将来人口フレーム

本市の総人口は、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の推計によると、2020年(令和2年)には118,201人、2040年(令和22年)には10万人を下回ると推計されている。

総合計画及び総合戦略を始めとする各種計画に基づいた各種施策を着実に実行することにより、2030年(令和12年)に11万人の人口を確保することを目標とする。



出所: 別府市人口ビジョン(改訂) 将来展望(目標)

第2 別府市を取り巻く環境

我が国は、2011年（平成23年）頃から人口減少局面に入ったとみられている。人口の構造をみると、合計特殊出生率は、1975年（昭和50年）以降、人口置換水準（人口規模が維持される水準、現在は2.07）を下回って推移しており、出生数も減少している。15歳以上65歳未満の生産年齢人口は、1995年（平成7年）以降、減少傾向にある。一方、65歳以上の高齢者は増加しており、今後は、特に首都圏等の都市部において、高齢者が急増する見込みである。

本市では、1980年（昭和55年）をピークに総人口が減少しており、社人研の推計によると、2040年には10万人を下回ることが見込まれている。年齢区分別にみると、65歳未満人口は減少する中、65歳以上の高齢者は2020年（令和2年）まで増加すると見込まれている。

以下、分野ごとに本市を取り巻く環境について説明する。

1 観光・産業

2018年（平成30年）度年次経済財政報告（経済財政白書）によると、「我が国経済は、2012年11月を底に緩やかな景気回復が続いている。」とされている。一方、有効求人倍率が1.60倍と1974年（昭和49年）1月以来の高さとなり、完全失業率も2.2%と1992年（平成4年）10月以来の水準まで低下しており、企業の人手不足感は四半世紀ぶりの高水準となっている。こうした中で、企業は人材の確保や省力化に向けた取組を迫られている。

また、観光業の動向をみると、訪日外国人客数が増加し、2013年（平成25年）に初めて年間1000万人を超え、2018年（平成30年）には年間3,119万人と3,000万人を突破している。

しかし、観光消費額については、目標を下回っており、達成が難しい状況となっている。

本市においても、観光入込客数は、2018年（平成30年）には年間約904万人、うち外国人観光客が約77万人となっており、現在と同じ測定方法となった2011年（平成23年）と比較し、観光入込客数は約15%（約115万人）増加している。

一方、本市においても、生産年齢人口の減少や景気の回復基調などの影響から、就業者割合が高いサービス業や医療・福祉・介護・観光・交通など多くの分野で、人材の確保が難しくなっている。

2 健康・福祉

「団塊の世代」が75歳以上となる2025年（令和7年）を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が進められている。

また、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会「地域共生社会」の実現に向けた取組が進められている。

本市は、この30年で高齢者数が2倍以上に急増していたが、今後は横ばいか減少傾向になることが見込まれている。医療・福祉体制は、施設数や連携状況等を見ても、充実しているが、健康寿命を延ばし、いきいきと幸せな生活がおくれるよう、2019年（令和元年）10月に「いきいき健幸部」を設置し、取組を進めている。

3 子育て・教育

我が国における急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化に鑑み、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的として、子育てを社会全体で支える取組が進められている。2019年（令和元年）10月からは、子育て世帯の負担軽減に向けた幼児教育及び保育の無償化が開始されている。

さらに、教育においては、グローバル化や超スマート社会の到来に際し、子どもたちが豊かな人生を生き抜くために必要な力を身に付け、活躍することができるよう、その果たすべき役割が期待されている。

また、共生社会の形成に向けて、2017年（平成29年）度には全ての学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを推進しつつ、公民館等を核とした地域学校協働活動を推進している。

さらに、グローバルに活躍する人材育成として、立命館アジア太平洋大学の体験留学や留学生教室などの事業に取り組んでおり、今後は、これらを有機的につなぐことにより、学校・家庭・地域の協働をさらに活性化していくための仕組みづくりが求められている。

加えて、学校における教育環境については、ICT教育など新たな教育活動を実現していくための環境整備が求められている。

4 都市基盤

我が国の道路等の公共施設は、高度経済成長期に整備されたものが多く、整備から50年以上経過する中、老朽化が進行している。また、人口減少や少子高齢化により、空き家や空き地が増加するなど、都市を支える生活基盤の維持が課題となっている。

本市は、緩やかに傾斜する扇状地に比較的コンパクトな市街地が形成されており、主要な幹線道路は整備が進められているものの、地域内の道路では、整備が十分ではない区間が見受けられる。また、空き家や空き地の増加や、上下水道施設の老朽化などに対応し、快適な住環境を維持することが求められている。

さらには、高齢化の進行や観光客の増加に伴い、公共交通の重要性が高まる中、近年、バスやタクシーの運転手不足による公共交通網の維持が困難になっており、自宅から公共交通機関までの移動が困難なため外出できない住民の対策も必要とされている。

5 環境・くらし

我が国においては、2011年（平成23年）3月の東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の影響もあり、再生可能エネルギーの導入が進められるとともに、電力の自由化等電力システム改革が進められている。

東日本大震災以降も、全国各地で災害が頻発しており、ハード面での防災・減災対策に加え、災害時の避難行動要支援者対策、避難所の生活環境対策、被災者支援などのソフト面の取組が進められている。

また、近年のスマートフォンやSNSの普及に伴う、これらを利用した犯罪や、特殊詐欺等の発生により、高齢者や子どもが被害者となる場合も多くなっている。

本市は、外国人を含む多くの観光客が訪れる国際観光温泉文化都市である。観光客、外国人、障がい者、高齢者を始めあらゆる人々が災害、事故、犯罪などの被害を受けることなく、安心して、生活し、滞在することができるよう、様々な取組を行うことが求められている。

6 協働・コミュニティ

男女共同参画社会とは、「男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会」とされている。

また、近年では、少子化対策の観点から、長時間労働の是正や家事・育児への参画意識の向上などが求められており、働き方改革が進められている。

地域コミュニティに関しては、全国的に地域の関係の希薄化、自治会・町内会の役割の多様化、コミュニティを構成する多様な主体との連携などが課題となっている。

本市では、地縁組織、市民活動団体、大学、企業等を含めた市民と市が連携し、協働のまちづくりを推進しており、将来的な担い手不足といった地域課題の解決に向けた「中規模多機能自治」の取組が進められている。

7 行財政運営

生産年齢人口の減少や高齢者の増加に加え、多様化する住民ニーズに対応するため、地方財政は厳しい状況が続いている。高度経済成長期に建設された公共施設が一斉に更新時期を迎えようとしており、これらの人口減少や施設の老朽化などを踏まえ、広域連携や公民連携の推進が求められている。

本市の財政状況を見ると、経常的経費において扶助費の占める割合が依然として高い状況に変化は見られない状況であり、経常的経費を中心に注視しなければならない状況にある。また、公共施設の老朽化対策が本格化することが見込まれており、中長期的にも多くの課題に対する財政需要があり、計画的かつ緊張感を持った財政運営が必要とされる。

限られた財源を最大限に活用するため、既存事業の見直しによる新たな施策の展開や、計画的な公共施設の再編等、市民との協働手法の導入や実施手法の工夫、国や県だけでなく、あらゆる財源を最大限に活用することなどが求められている。

さらに、本市では、「デジタルファースト宣言」を行い、デジタルの力を活用した市民サービスの提供や行政運営の効率化に取り組んでいる。

8 SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年(平成27年)9月に国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、この中で、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)(以下「SDGs」という。)が設定されている。

SDGsは、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っているものであり、発展途上国だけでなく、先進国自身に取り組む普遍的なものであり、我が国においても「SDGs推進本部」が設置され、実施指針やアクションプランを策定し、積極的に取り組んでいる。

地方自治体においても、SDGs未来都市が認定され、モデル事業が実施されており、第2期地方創生総合戦略の策定に関してもSDGsの考え方等を踏まえることとされている。

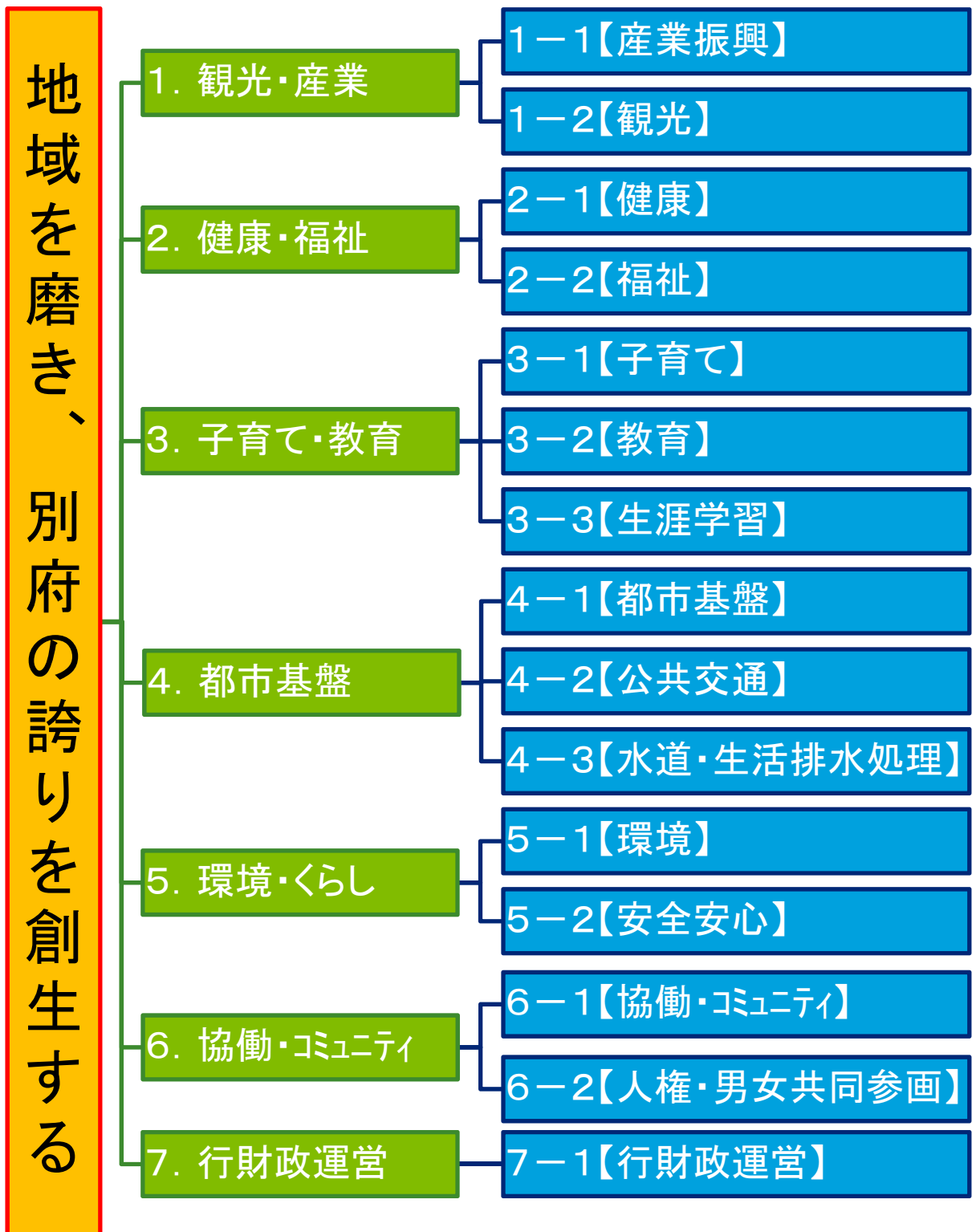
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第3 めざす姿と施策の基本的方向性

第4次別府市総合計画～地域を磨き、別府の誇りを創生する～(2020年度(令和2年度)～2027年度(令和9年度))の全体像

別府市を取り巻く環境	政策	施策	めざす姿	施策の方向性
1 観光・産業 ・企業の人材不足感の高まり ・訪日外国人客の急増 2 健康・福祉 ・医療・福祉体制の充実 ・健康志向の高まり 3 子育て・教育 ・幼児教育・保育無償化 ・グローバル化・超スマート社会 4 都市基盤 ・公共施設・インフラの老朽化 ・公共交通の重要性の高まり 5 環境・暮らし ・災害の頻発、ハード面、ソフト面での防災・減災対策の重要性の高まり 6 協働・コミュニティ ・働き方改革への機運の高まり ・地域の関係の希薄化、地域の担い手の不足 7 行財政運営 ・住民ニーズの多様化 ・計画的かつ緊張感を持った財政運営の必要性 8 SDGs ・国連における「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の採択 ・国・地方一体となった取組の推進	1 観光・産業	1-1【産業振興】	<ul style="list-style-type: none"> 産業人材の確保・生産性向上により、「儲かる別府」が実現されている。 あらゆる人が、希望をかなえられる職種等の選択ができ、活躍している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上、持続可能な経営の確保、人材の育成・確保 あらゆる人が活躍できる環境の整備
		1-2【観光】	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の磨き上げなどにより、観光客を満足させ、消費を促進している。 観光と市民生活の調和が保たれ、産業等の発展と福祉の向上が循環している。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の磨き上げ、観光客の満足度・消費の向上、受け入れ態勢整備 観光と市民生活の調和の確保及び市民福祉への還元
	2 健康・福祉	2-1【健康】	<ul style="list-style-type: none"> 市民が自らの状況に応じた健康づくりにより、健康な体とこころを維持している。 体を動かす習慣づくりを普及する機会や医療体制などが整備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各世代における主体的な健康づくり支援、運動習慣の定着を図る機会の確保 救急医療体制等の整備・運用、データ分析に基づく医療費の適正化
		2-2【福祉】	<ul style="list-style-type: none"> 住みなれた地域でそれぞれの違いや個性を認め合いながら、自助・互助・共助・公助による地域共生社会が築かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様な機関の協働による包括的で持続可能な支援体制の構築 地域における包括的な支援力の強化、安全安心を高める地域づくり
	3 子育て・教育	3-1【子育て】	<ul style="list-style-type: none"> 次代を担う子どもたちが、健やかに生まれ、生き生きと育ち、地域のぬくもりに包まれて、子育てがしやすいと実感できる。 一人ひとりの「子どもの最善の利益」が実現されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての子どもが希望を持ち、健やかに成長できる環境づくり 親・家庭が喜びや生きがいを感じながら子育てできる支援の充実 地域や社会全体で子育てを見守り支えあうことのできる体制づくり
		3-2【教育】	<ul style="list-style-type: none"> 自分らしく学べる場が確保され、自ら課題を解決する人が育成されている。 地域学校協働活動を推進する仕組みが構築され、郷土への誇りと夢を併せ持つ豊かな人間性や社会性、国際性を備えた人材が育成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学び続ける力、未来を生き抜く豊かな心と健やかな体の育成 学校・家庭・地域の協働推進 新しい学びに対応した教育基盤整備
		3-3【生涯学習】	<ul style="list-style-type: none"> 各世代に応じた学習機会が提供され、地域で活躍する人材が育っている。 個人の学びと社会的活動が循環し、市民がいきいきと活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人生100年時代を支える生涯学習の推進 新図書館等の整備及び多機能化、社会教育施設のネットワーク化
	4 都市基盤	4-1【都市基盤】	<ul style="list-style-type: none"> 景観を生かし、公園や海岸等が整備・利用され、にぎわいと活力がある。 道路や河川等が整備され、誰もが、安全・快適に暮らせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある景観の維持及び保全、公園や海岸等の整備及び利用促進 安全・快適な道路や住環境の整備
		4-2【公共交通】	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが、便利で快適に移動できる手段が確保されている。 持続可能な公共交通サービスが提供されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に応じた交通インフラの整備 ICT等を活用した新たな移動手段の調査研究と推進
		4-3【水道・生活排水処理】	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な水を、誰でも持続的に生活に使用できている。 生活排水が適正に処理され、良好な水環境が持続的に保たれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な水供給を確実にするシステムづくり、施設・設備等の耐震性の確保 生活排水未処理地域における処理の推進
	5 環境・暮らし	5-1【環境】	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境と共生し、豊かで住みよい暮らしができています。 環境への負荷の少ない資源循環型社会が形成されている。 誰もが、環境を意識し、きれいなまちづくりを目的とした活動に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境との共生の推進 ごみの発生抑制、排出抑制、資源化及び適正処理の推進 環境教育の推進、環境美化活動等への参加の促進
		5-2【安心安全】	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが災害や犯罪などの被害を受けず、生活や滞在をすることができている。 災害等に備え、自助、共助、公助の役割を踏まえた体制が整備されている。 災害時要配慮者を地域で守り、障がい者のインクルーシブ防災が実現されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震津波等に対応するハード整備、地域防災力・防犯力の強化 消防・救急体制の充実強化 市民・行政・専門機関等の関係機関相互連携の推進
	6 協働・コミュニティ	6-1【協働・コミュニティ】	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題解決のため、様々な個人や団体が、互いに連携、協力している。 地域のことは地域で考える地域自治により、特性をいかした取組ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地域づくりの推進 地域運営組織に対する支援の充実
		6-2【人権・男女共同参画】	<ul style="list-style-type: none"> 互いの尊厳と自己実現の権利を認め合い、多種多様な文化と共存している。 人権問題の解決と差別の撤廃により、人権が尊重されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育・啓発活動の推進 誰もが、ともに暮らしやすく、ともに働きやすい社会環境づくり
	7 行財政運営	7-1【行財政運営】	<ul style="list-style-type: none"> 市民が利用しやすい持続可能なサービスが提供されている。 市職員がその力と知恵を結集し、民間とも連携し、課題解決に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルファーストの推進等による市民サービスの向上や行政運営の効率化 中規模多機能自治区、企業、大学機関、団体等との協働の推進



【施策別の記載内容】

(1)現状と課題

- ・ 各施策における現状と解決すべき課題について、本市を取り巻く外部環境とこれまで実施してきた取組の評価も踏まえ、記載している。

(2)めざす姿

- ・ 将来（基本構想の目標年度（2027年（令和9年）度））までに実現したい「めざす姿」を記載している。

(3)施策の方向性

- ・ 各施策における基本的な方向性を記載している。

(4)施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 各施策に関連するSDGsの17の目標を記載している。

(5)施策に関連する分野別計画

- ・ 各施策に関連する分野別計画を記載している。



政策 1 : 観光・産業

施策 1 : 【産業振興】持続可能な産業の振興と誰もが活躍できる環境の整備

(1) 現状と課題

- ・本市の産業構造を見ると、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業の3業種で従業員数及び付加価値額の6割以上を占めている。
- ・生産性の向上による所得の向上が求められるとともに、各産業において、「稼ぐ仕組み」が創生される環境づくりや人材の育成・確保が求められている。そのためには、多様な雇用機会の確保や雇用環境の改善が必要となる。

(2) めざす姿

- ・各産業において必要な人材が確保され、生産性も向上し、「儲かる別府」が実現されている。
- ・あらゆる人が、希望をかなえられる職種や就労期間、時間を選択でき、活躍している。

(3) 施策の方向性

- ・各産業における生産性の向上及び持続可能な経営の確保
- ・産業に必要な人材の育成・確保
- ・持続可能な農林水産業及び商工業の振興
- ・あらゆる人が活躍できる環境の整備
- ・各産業において、「儲かる別府」を循環・加速させるための「稼ぐ仕組み」づくりが起こりやすい環境の整備

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 2 : 持続可能な農業、 8 : 経済成長、 9 : イノベーション、 14 : 持続可能な水産業、 15 : 持続可能な林業

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府ツーリズムバレー構想	2020年1月	—
農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	2014年9月	2014～2023
別府市農業再生協議会水田フル活用ビジョン	2018年2月	2018～2020
別府市森林整備計画	2019年4月	2019～2028
浜の活力再生プラン	2020年3月	2020～2024



政策 1 : 観光・産業

施策 2 : 【観光】 観光資源のさらなる磨き上げと市民生活との調和の確保

(1) 現状と課題

- ・ 観光客の動向を見ると、近年、特にアジア諸国からの観光客が増加している。また、2019年（令和元年）に開催されたラグビーワールドカップ開催時には、ヨーロッパやオセアニア地域からの観光客も多く訪れ、レガシー（遺産）として多くのものを残している。
- ・ 近年、国内外のホテルチェーンをはじめ宿泊施設が増加しており、観光案内施設も設置するなど、受け入れ態勢の整備も進んでいる。
- ・ 施策 1 の産業と同様に、人材の育成及び確保が課題であるとともに、観光と市民生活の調和や観光産業における収益を市民の福祉に還元させるような取組も求められる。

(2) めざす姿

- ・ 別府の観光資源がさらに磨き上げられるとともに、施設、設備、人材が、あらゆる観光客を満足させ、消費を促している。
- ・ 観光と市民生活の調和が保たれ、本市の基幹産業である観光をはじめとする産業等の発展により、稼ぐ力を増強し、住民福祉の向上を図る好循環ができていく。

(3) 施策の方向性

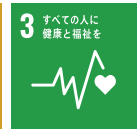
- ・ 観光資源のさらなる磨き上げによる観光客の満足度及び消費の向上
- ・ あらゆる観光客を受け入れる態勢の整備
- ・ 観光と市民生活の調和の確保及び市民福祉への還元

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 12：持続可能な観光

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市屋外温浴施設基本構想	2020年3月	2019～
国民保養温泉地計画	1985年3月	—



政策 2 : 健康・福祉

施策 1 : 【健康】 健幸のまち「べっぴん」の実現

(1) 現状と課題

- ・本市の健康課題としては、乳幼児期から学童期、思春期にかけては、むし歯のある幼児、児童が多いこと、肥満の児童が多いことが挙げられ、壮年期から高齢期にかけては、男女ともに健康寿命が短く、壮年期から高齢期にかけて、介護に対する高い需要や男女ともに生活習慣病による死亡率が高いことなどが挙げられる。
- ・市民一人ひとりが、健康への関心を高め、自ら健康づくりに取り組むことが求められる。

(2) めざす姿

- ・あらゆる市民が、自らの状況を把握し、その状況に応じた健康づくりを行って、健康な体とところを維持し、幸せを実感している。
- ・市民全体が心身ともに健康な生活が送れるよう、生涯を通じて体を動かす習慣づくりを普及する機会や医療体制などが整備されている。
- ・ICTを活用した市民の医療情報が有効に利用されている。
- ・地域の特性を生かした健康に対する意識の普及と向上が図られている。

(3) 施策の方向性

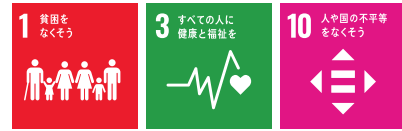
- ・各世代における主体的な健康づくりの支援
- ・誰もが参加できる運動習慣の定着を図る機会の確保
- ・救急医療体制等の整備・運用
- ・データ分析に基づく医療費の適正化

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 2 : 栄養改善、 3 : 健康的生活の確保

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
湯のまち別府健康21(第二次)	2012年3月	2012~2021
第2期別府市データヘルス計画	2018年3月	2018~2023
特定健康診査等実施計画(第3期)	2018年3月	2018~2023
別府市国民健康保険事業計画	2019年3月	毎年度
別府市国民健康保険保健事業等実施計画	2019年4月	毎年度
別府市スポーツ推進計画	2022年3月(予定)	2022~2026



政策 2 : 健康・福祉

施策 2 : 【福祉】 自分らしく過ごせる、ぬくもりと支え合いのまちの実現

(1) 現状と課題

- ・ 人口減少が進行しているなか、少子高齢化や家族形態の変化に伴い、福祉問題は複雑化・複合化しており、専門性や多様な関係機関の連携、また住民を交えた地域課題解決のための体制づくりが求められる事案が増加している。
- ・ 福祉への関心は高まっているものの、実際の活動に関しては、人口減少や高齢化により、自治会運営など地域を担う人材が不足し、参加者が固定化するなど持続可能な活動の確保が課題となっている。
- ・ 少子高齢化による社会構造の変化に対応するため、変化に沿った「あり方」が課題として問われている。
- ・ 人口減少や社会保障に対して、国の方針や施策変更による制度改正に伴い市町村の負担が増加している状況がある。

(2) めざす姿

- ・ 住みなれた地域でそれぞれの違いや個性を認め合いながら、一人ひとりが役割と生きがいを持って過ごし（自助）、お互いを支え合い（互助）、誰もが安心して暮らし続けることができる（共助、公助）地域共生社会が築かれている。

(3) 施策の方向性

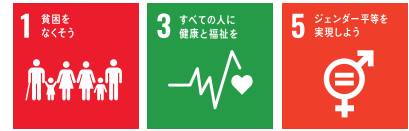
- ・ 多種多様な機関の協働による包括的で持続可能な支援等への連携・協議体制の構築
- ・ 地域における包括的な支援力の強化
- ・ 安全安心を高める地域づくり

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 1 : 生活困窮支援策の検討、 3 : 福祉の推進、 10 : 不平等の是正

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市地域福祉計画	2018年3月	2018～2020
別府市第7期老人福祉計画・第7期介護保険事業計画	2018年3月	2018～2020
別府市障がい者計画(第3期)	2015年3月	2015～2020
別府市障がい福祉計画(第5期)	2018年3月	2018～2020
別府市障がい児福祉計画(第1期)	2018年3月	2018～2020
別府市子ども・子育て支援事業計画	2020年3月	2020～2024



政策3：子育て・教育

施策1：【子育て】安心して子どもを産み、育て、生きる社会の実現

(1)現状と課題

- ・ 子どもの数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の向上などにより、父親の子育てへの参画や職業生活と家庭生活の両立のための支援の必要性が高まっている。
- ・ 子どもの貧困対策や外国人子育て家庭への支援等、子どもと家庭における包括的な支援体制を構築する必要がある。

(2)めざす姿

- ・ 次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、生き生きと育ち、地域の人々の温かいぬくもりに包まれて、子育てがしやすいと実感できる。
- ・ 子どもの視点に立ち、子どもの生存と発達が保障されるよう、良質かつ適切な内容及び水準の教育・保育環境を確保し、一人ひとりの「子どもの最善の利益」が実現されている。
- ・ 自分が住んでいるまちを知り、誇りを持つ心が育成されている。

(3)施策の方向性

- ・ 全ての子どもが希望を持ち、健やかに成長できる環境づくり
- ・ 親・家庭が喜びや生きがいを感じながら子育てできる支援の充実
- ・ 地域や社会全体で子育てを見守り支えあうことのできる体制づくり
- ・ 「別府学」による知識と自分が住んでいるまちへの愛着を高める

(4)施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 1：子どもの貧困対策、3：妊産婦及び子どもの死亡率低下、5：ジェンダー平等

(5)施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市子ども・子育て支援事業計画	2020年3月	2020～2024



政策 3 : 子育て・教育

施策 2 : 【教育】多様な人々と協働し、夢実現に果敢に挑戦する別府っ子の育成

(1) 現状と課題

- ・ 児童生徒の学力や体力・運動能力は、全国調査によると改善傾向にあるが、まだ目標には達成していないため、取組の継続が求められる。
- ・ 学校運営協議会制度の仕組みは定着しつつあり、今後は、学校・家庭・地域の協働の質を向上させていく必要がある。
- ・ いじめ解消率は高い数値を維持しているが、引き続きいじめの防止・早期発見・早期対応が求められる。また、不登校児童生徒の出現率は増加しており、未然防止の取組及び個別の支援体制の充実が求められる。

(2) めざす姿

- ・ 自分らしく安心して学べる場が確保され、認め合い、知恵を出し合い、自ら課題を解決しようとする人が育成されている。
- ・ 生涯にわたって学び続けるために必要な基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等を持ち、たくましく生き抜く健康・体力を身に着けた人が育成されている。
- ・ 学校・家庭・地域が、目指す子ども像を共有し、地域学校協働活動を推進する仕組みが構築され、郷土への誇りと夢を併せ持つ豊かな人間性や社会性、国際性を備えた人材が育成されている。

(3) 施策の方向性

- ・ 生涯学び続ける力の育成
- ・ 未来を生き抜く豊かな心と健やかな体の育成
- ・ 学校・家庭・地域の協働推進
- ・ 新しい学びに対応した教育基盤整備

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 1 : 子どもの貧困対策、4 : 質の高い教育

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市教育大綱	2016年6月	2016～2020
別府市教育行政基本方針	2019年2月	毎年度
別府市学校教育施設等長寿命化計画	2018年度	2019～2048

政策3：子育て・教育

施策3：【生涯学習】学ぶ機会の拡充及び地域で活躍する人材の育成

(1) 現状と課題

- ・本市に所在する大学等教育機関では、各種講座が公開されており、社会教育施設においても、様々な世代を対象にした学ぶ機会が提供されているが、社会的活動とのつながりが必要である。
- ・教育行政の枠を超えて民間機能と連携することにより、新たな学びの機会や多様な教育の実践を提供する場の整備が求められている。
- ・学びを通じたネットワークづくりを促進するとともに、学んだことを地域づくりなどの活動に還元する人の育成が求められる。

(2) めざす姿

- ・各世代に応じた多様な学習機会が提供され、地域で活躍する人材が育っている。
- ・コミュニティの場や個人の学びと社会的活動が循環する場が創られ、市民がいきいきと活動している。
- ・まちを学び、知ることで愛着が生まれる環境が創造されている。

(3) 施策の方向性

- ・豊かな地域を創生する学びの支援
- ・人生100年時代を支える生涯学習の推進
- ・文化芸術活動を通じたまちづくりの推進
- ・歴史的・文化的財産の保存・継承・活用
- ・新図書館等の整備及び多機能化
- ・社会教育施設のネットワーク化
- ・多様な人材が「別府学」にふれる機会の促進

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 4：質の高い教育、11：住み続けられるまちづくり

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市教育大綱	2016年6月	2016～2020
別府市教育行政基本方針	2019年2月	毎年度
別府市子どもの読書活動(第2次)推進計画	2016年5月	2016～2020

政策 4 : 都市基盤

施策 1 : 【都市基盤】日常生活が便利で、安全・快適に暮らせるコンパクトなまちの実現

(1) 現状と課題

- ・本市は、緩やかに傾斜する扇状地に形成された比較的コンパクトな市街地が形成されている。また、山、海、湯けむりと一体となって、特有の景観を有している。
- ・主要な幹線道路は整備が進められているものの、地域内の道路では、整備が不十分な区間が見受けられる。
- ・海岸や公園は多く、整備されており、さらなる利活用が求められている。
- ・空き家や空き地の適切な管理による快適な住環境の維持が求められている。

(2) めざす姿

- ・特色ある景観を生かし、公園や海岸等が整備・利用され、にぎわいと活力がある。
- ・道路や河川等が整備され、誰もが、安全・快適に暮らせている。
- ・公有財産を含めた財産が有効に活用され、まちの活性化に寄与できている。

(3) 施策の方向性

- ・特色ある景観の維持及び保全
- ・公園や海岸等の整備及び利用の促進
- ・安心して利用できる道路等の整備
- ・安全・快適な住環境の整備
- ・まちの魅力向上による移住・定住の促進

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 11 : 住み続けられるまちづくり

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市国土利用計画	2004年3月	—
別府市都市計画マスタープラン(改定版)	2011年4月	2011～2030
別府市交通バリアフリー基本構想	2005年3月	2005～
別府市景観形成マスタープラン	2007年3月	—
別府市景観計画	2009年4月	—
別府市立地適正化計画	2021年1月(予定)	2021～
別府市緑の基本計画	2007年3月	2007～2025
別府市公園施設長寿命化計画	2014年3月	2014～2024
別府市橋梁長寿命化修繕計画	2012年3月	2012～
別府市公営住宅等長寿命化計画(改定)	2016年2月	2016～2025
別府市空き家等対策計画	2017年3月	2017～2021

政策 4 : 都市基盤

施策 2 : 【公共交通】誰もが便利で快適に移動できる持続可能な公共交通の実現

(1) 現状と課題

- ・本市には、JR、バス、タクシー等の公共交通機関があり、市民や観光客が利用している。
- ・別府駅等の交通拠点において、乗り継ぎの円滑化等二次交通の利便性を向上する必要がある。
- ・近年、バスやタクシーの運転手不足による公共交通網の維持が困難になっている。
- ・市街地において、自宅から公共交通機関までの移動や外出困難な住民の対策が必要とされている。

(2) めざす姿

- ・誰もが、便利で快適に移動できる手段が確保されている。
- ・持続可能な公共交通サービスが提供されている。

(3) 施策の方向性

- ・地域の実情に応じた交通インフラの整備
- ・ICT等を活用した新しいモビリティの導入
- ・MaaS（移動のサービス化）の調査研究と推進

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・11：住み続けられるまちづくり

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市地域公共交通網形成計画	2016年3月	2016～2020
別府市地域公共交通アクションプラン	2017年3月	2017～2020

政策 4 : 都市基盤

施策 3 : 【水道・生活排水処理】安心して利用し続けられる水の確保及び

生活排水の適切な処理

(1) 現状と課題

- ・本市では、良質な水が安定的に供給されているが、施設や管路が老朽化しており、これら施設や設備の更新や耐震化対応が求められている。
- ・本市の生活排水処理率は 79.3% (2018 年 (平成 30 年) 度末) であり、より一層の向上が求められている。

(2) めざす姿

- ・時代や環境の変化に的確に対応しつつ、安全で安心な水が、誰でも持続的に生活に使用することができる。
- ・生活排水が適正に処理され、良好な水環境が持続的に保たれている。

(3) 施策の方向性

- ・安全な水供給を確実にするシステムづくり
- ・施設、設備及び管路の耐震性の確保
- ・持続可能な財源の確保
- ・生活排水未処理地域における合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理
- ・人口減少などに伴う、生活排水処理地域の見直しと見直し後の計画の推進

(4) 施策に関連する SDGs における目標

- ・ 6 : 安全な水の提供、生活排水処理の推進

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市水道事業ビジョン	2018 年 3 月	2017~2026
別府市水道事業経営戦略	2018 年 3 月	2017~2026
別府市水道事業第 8 期拡張基本計画	2017 年 3 月	2017~2030
アセットマネジメント	2017 年 3 月	—
別府市生活排水処理施設整備構想	2020 年 3 月	2020~2072
別府市公共下水道事業計画	2016 年 3 月	2016~2021
別府市公共下水道ストックマネジメント計画	2017 年 12 月	2018~2021
別府市公共下水道長寿命化計画	2013 年 3 月	1993~2020
別府市下水道事業業務継続計画(地震・津波災害版)	2016 年 3 月	2016~
別府市公共下水道 処理場及びポンプ場 耐震・耐津波計画	2016 年 3 月	2016~2028
一般廃棄物(生活排水)処理基本計画	2015 年 3 月	2015~2039



政策5：環境・暮らし

施策1：【環境】自然と共生し、環境への負荷の少ない循環型社会の実現

(1) 現状と課題

- ・本市は、海、山、温泉といった豊かな自然環境に恵まれている。これらの自然環境を保全していくことが求められている。
- ・ごみの発生抑制、排出抑制及び資源化に取り組むことが求められている。
- ・地球温暖化対策のため、再生可能エネルギーの導入が求められている。
- ・再生可能エネルギーの開発と別府の自然の保護により、共存の実現が求められている。

(2) めざす姿

- ・豊かな自然環境と共生し、豊かで住みよい暮らしができています。
- ・環境への負荷の少ない資源循環型社会が形成されています。
- ・だれもが環境に対する意識を持ち、きれいなまちづくりを目的とした活動に参加している。
- ・別府の宝である温泉を大切にし、長く後世へと引き継がれている。

(3) 施策の方向性

- ・自然環境との共生の推進
- ・ごみの発生抑制、排出抑制、資源化及び適正処理の推進
- ・環境教育の推進
- ・環境美化活動等への参加の促進
- ・温泉などの現状把握による温泉資源の維持・確保

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 7：持続可能なエネルギー、11：住み続けられるまちづくり、12：廃棄物の削減、13：地球温暖化対策、14：海洋汚染防止、15：生物多様性の保全

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市環境基本計画(第2次)	2011年3月	2011～2020
別府市環境目標達成プラン(第2次)	2015年3月	2015～2020
大分県別府市アライグマ防除実施計画書	2012年3月	2012～2020
別府市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)	2019年3月	2019～2030
別府市地球温暖化対策率先実行計画(第4期)	2020年4月	2020～2025
別府市グリーン購入調達方針	2020年4月	2020～2025
別府市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画	2015年10月	2015～2039
別府市分別収集計画(第9期)	2019年6月	2020～2024
別府市災害廃棄物処理基本計画	2015年1月	—
別府市地域新エネルギービジョン	2015年3月	2015～2020



政策 5 : 環境・くらし

施策 2 : 【安全安心】誰もが安全で安心して生活し、滞在できる別府市の実現

(1) 現状と課題

- ・ 2016年(平成28年)に発生した「平成28年熊本地震」では、本市でも被害が発生しており、また、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されるなど、地震津波対策が求められている。
- ・ 東日本大震災では、障がい者の死亡率が全体の約2倍であったことから、災害時要配慮者への取組も求められている。
- ・ 近年増加している外国人観光客や障がい者、高齢者、子どもなどが安心して生活し、滞在することができるよう、体制の整備が求められている。
- ・ 高齢者等を対象とした特殊詐欺の被害が発生していることから、市民の財産を守る取組も求められている。

(2) めざす姿

- ・ 観光客、外国人、障がい者、高齢者を始め、誰もが災害、事故、犯罪などの被害を受けることなく、安心して生活し、滞在することができる。
- ・ 災害等が発生した場合に備え、自助、共助、公助の役割を踏まえた体制及びネットワークが整備されている。
- ・ 災害時要配慮者を地域で守る仕組みを構築し、障がい者のインクルーシブ防災が実現されている。

(3) 施策の方向性

- ・ 地震津波等に対応するハード面の整備
- ・ 地域の防災・防犯力の強化
- ・ 消防・救急体制の充実強化
- ・ 市民・行政・専門機関等の関係機関相互連携の推進
- ・ 地域防災・防犯力の強化と情報伝達のスピード化

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 3・5 : 災害時要配慮者への取組、11 : 災害リスク管理、13 : 自然災害対策、16 : 犯罪減少、17 : 官民・市民社会の連携

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市地域防災計画	2019年3月	—
別府市国民保護計画	2007年3月	—
別府市交通安全計画(第10次)	2016年3月	2016~2020
消防体制の充実計画	2015年度	2016~2020
応急手当普及啓発活動計画	2015年度	2016~2020

政策6：協働・コミュニティ

施策1：【協働・コミュニティ】地域の課題解決に向けた体制の確保と実行

(1)現状と課題

- ・地域の課題解決のためには、行政、市民、各種団体、企業、大学等が、互いに連携、協力することが求められている。
- ・協働のまちづくりを推進するに当たり、地域運営の担い手が不足するなど、自治機能を維持することが難しくなる一方、複雑化する地域課題に対応することができる体制や機能が求められている。
- ・自治会や多様な主体、団体等が連携して課題解決に取り組むため、地域運営組織を構築するとともに、中規模多機能自治を目指し、持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

(2)めざす姿

- ・地域の課題解決のため、様々な個人や団体が、互いに連携、協力している。
- ・地域のことは地域で考える地域自治により、地域の特性をいかした取組ができています。

(3)施策の方向性

- ・持続可能な地域づくりの推進
- ・地域運営組織に対する支援の充実

(4)施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 17：パートナーシップ

(5)施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
なし		



政策 6 : 協働・コミュニティ

施策 2 : 【人権・男女共同参画】人権が尊重される心豊かなまちの実現

(1) 現状と課題

- ・ 全ての人の人権が等しく保障される社会を実現するため、自分を大切にする気持ちとともに、他人への理解と思いやり、多様な生き方を認め合える関係を構築していく必要がある。
- ・ 部落差別問題をはじめとする女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人など様々な人権問題の解決、インターネット上の人権侵害やセクシュアルマイノリティ（性的少数者）などの人権問題への対応も求められている。
- ・ 徐々に男女共同参画意識は高まっているものの、依然として性差による固定的な役割分担意識は残っている。

(2) めざす姿

- ・ 全ての市民が、お互いの尊厳と自己実現の権利を認め合い、多種多様な文化や考えについて互いに交流し、共に生きている。
- ・ 部落差別問題をはじめとする全ての人権問題の解決と一切の差別を撤廃し、人々がいきいきと輝き、人権が尊重されている。

(3) 施策の方向性

- ・ 人権教育・啓発活動の推進
- ・ 誰もがともに暮らしやすい社会づくり
- ・ 誰もがともに働きやすい環境づくり

(4) 施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 5 : ジェンダー平等、10 : 不平等の是正、16 : 平和と公正

(5) 施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市人権教育及び人権啓発基本計画	2007年2月	2007～
別府市人権教育・啓発実施計画(第3次)	2016年3月	2016～2020
第2次別府市男女共同参画プラン	2011年3月	2011～2020

政策7:行財政運営

施策1:【行財政運営】市民に信頼される効率的で持続可能な質の高い行政経営の実現

(1)現状と課題

- ・ 持続可能で安定的な行政経営のためには、真に必要な行政サービスを効率的に提供していくことが必要である。
- ・ 業務における専門性が高まるとともに、部局横断的な課題が増加している。限られた人的資源や財源を有効に活用するため、既存の業務や業務実施手法の見直しが求められている。
- ・ また、地域課題の解決に向けた、新たな財源の確保や地域、企業、各種団体等との協働の推進も求められている。

(2)めざす姿

- ・ 市民の立場に立ち、市民に寄り添い、市民が利用しやすい持続可能なサービスが提供されている。
- ・ 市職員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮した上で、組織として、その力と知恵を結集するとともに、民間や地域と連携し、市全体として課題解決に取り組んでいる。

(3)施策の方向性

- ・ 市民サービスにおけるデジタルファーストの推進等による質の向上
- ・ 行政運営におけるデジタルファーストの推進による効率化
- ・ 中規模多機能自治区、企業、大学機関、団体等との協働の推進
- ・ 公有財産の適正な管理及び有効活用
- ・ 持続可能な財政運営を行うための自主財源確保
- ・ PPP、PFIなど民間の資金や知識、手法や活用・導入による事業等の推進
- ・ 事務事業推進に係る職員の人財育成（自己啓発・マネジメント など）

(4)施策に関連するSDGsにおける目標

- ・ 17: パートナリツプ

(5)施策に関連する分野別計画

計画名	策定年月	計画期間
第3次別府市行政改革大綱	2017年12月	2018～2022
第4次別府市行政改革推進計画	2018年3月	2018～2022
別府市税徴収方針	2019年8月	2019～
別府市公共施設マネジメント基本方針	2015年4月	2015～2044
別府市公共施設等総合管理計画	2016年4月	2015～2064
別府市公共施設再編計画	2017年3月	2017～
別府市公共施設保全実行計画	2018年6月	2019～2048
別府市人材育成基本方針(一部改定)	2015年4月	—
別府市定員適正化計画(第2次)	2012年3月	2012～2021
別府市特定事業主行動計画(第3期)	2015年4月	2015～2020
女性活躍推進法に基づく別府市特定事業主行動計画	2016年4月	2016～2020

第4 施策の実施と成果の検証

この構想は、本市における施策実施に当たっての基本的な方針を示したものである。

「第1 計画策定に当たって」に記載しているとおり、具体的な取組や成果目標等については、各分野別計画にて整理し、実施に当たっては、毎年度策定する実施計画において、その財源とスケジュールを含め、調整し、毎年度の予算において実行が確定するものとなる。

施策実施後の成果の検証及び改善については、計画の着実な実現に向け、市民や各種団体などの参画を得て、統計学の知識、社会調査の方法、定量的分析・定性的分析の手法を踏まえ、各取組などの調査・検証を行い、その結果に基づく見直し・改善を実行しながら、必要に応じて事業の内容や手法を見直すものとする。

また、実施手法についても、前例にとらわれることなく、デジタルファースト宣言に代表されるような新たな技術の導入等あらゆる手段を検討し、実行しなければならない。

実行し、評価・検証し、改善する「PDCAサイクル」を回すことで、より効果的かつ効率的な課題解決に向けた取組へと改善し続けることが重要である。

資料編

1 諮問書・答申書

○諮問書

別総政第305号
令和元年7月31日

別府市総合計画審議会会長 様

別府市長 長野 恭 紘

別府市総合計画・総合戦略について(諮問)

別府市総合計画審議会条例第3条の規定に基づき、令和2年度から8年間の別府市の進むべき方向性とその実現に向けて必要となる施策を明らかにする第4次別府市総合計画及び令和2年度から5年間の別府市におけるまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画である第2期別府市総合戦略の策定について、貴審議会の意見を求めます。

○答申書

令和元年 12 月 26 日

別府市長 長野恭紘 様

別府市総合計画審議会
会長 西田 陽一

別府市総合計画・総合戦略について(答申)

令和元年7月31日付け別総政第305号で諮問のありました第4次別府市総合計画及び第2期別府市総合戦略の策定について、当審議会で慎重に審議した結果、別添のとおり答申します。

なお、総合計画及び総合戦略の推進にあたっては下記の事項に配慮され、目標達成に向け取り組まれるよう要望します。

記

1 好循環をうみだす仕組みの構築と運用

人口減少及び高齢化が進行する中、地方創生の実現のためには、観光をはじめとする産業の発展により地域が活性化し、市民の福祉向上につながる好循環をうみだすことが求められます。

また、行政、市民、産業界、大学、各種団体が連携して各種取組を実行するとともに、実施結果の検証・評価を徹底し、次のプランに活かすことが必要です。

2 誰もが主体的に活躍できる環境づくり

別府市の特徴は、多様性と受容性にあります。その特徴をいかし、生活を豊かなものとするためには、誰もが主体的に活躍できるような機会の確保や仕組みの構築が求められます。

3 持続可能な地域づくりの推進

総合計画及び総合戦略には、「誰一人取り残さない」を理念として、国連本部で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性が示されています。

別府市においても、環境、福祉、産業など全ての分野において、持続可能な地域であることが重要であり、いまある資源の有効活用が求められます。そのためには、地域資源を確保しつつ、新しい技術を活用するなどの取組が必要となります。

以上

2 審議会条例・審議会委員名簿

○別府市総合計画審議会条例(昭和51年10月15日条例第35号)

(目的)

第1条 この条例は、別府市総合計画審議会の設置及びその組織並びに運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 市に別府市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第3条 審議会は、市長の諮問に応じ、本市の総合計画について審議し答申する。

(組織)

第4条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 前項の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 市議会議員
- (2) 学識経験者
- (3) 関係団体の役職員
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) その他市長が必要と認める者

3 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

(任期)

第5条 前条第1項に掲げる委員の任期は、当該諮問に係る審議会の事務が終了したときまでとする。ただし、任期中であっても、その本来の職を離れたときは、委員の職を失うものとする。

(会議)

第6条 審議会は、必要に応じ会長が招集し、その議長となる。

2 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事及び書記)

第7条 審議会に幹事及び書記を置き、市職員のうちから市長が任命する。

2 幹事及び書記は、会長の命をうけ会務に従事する。

(意見の聴取)

第8条 審議会は、必要があると認めるときは、公聴会を開き、又はその他適当な方法により、広く意見を聴くことができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるものを除くほか、審議会の運営に関して必要な事項は、市長が定める。

附 則(抄)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成2年10月1日条例第16号抄)

1 この条例は、公布の日から施行する。

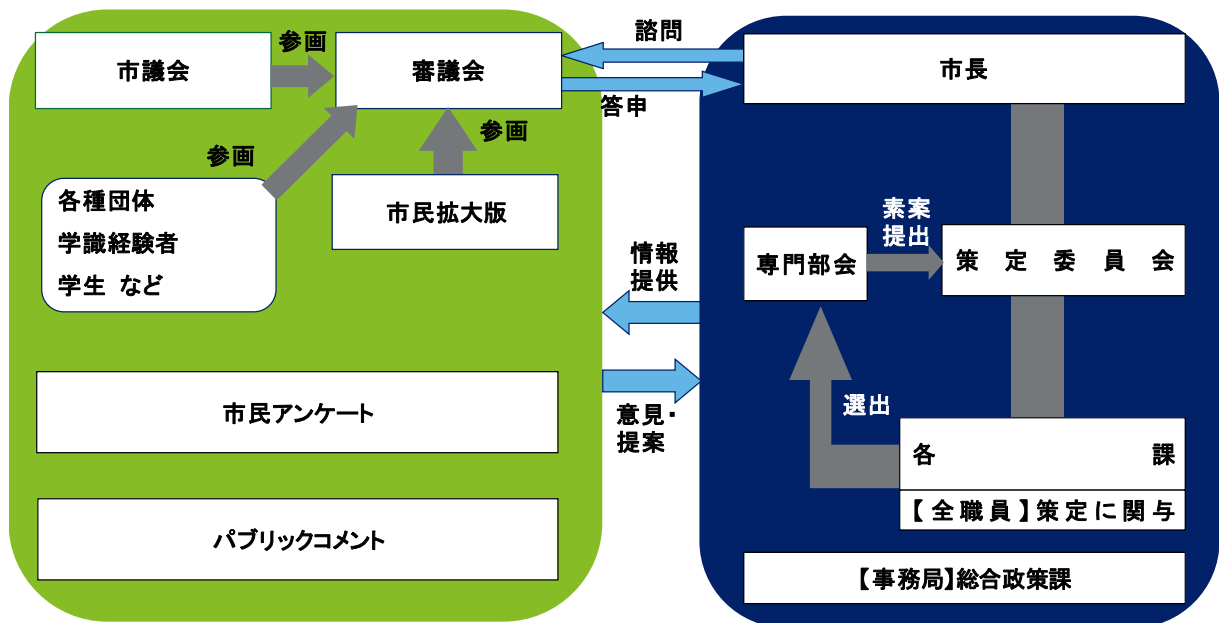
別府市総合計画・総合戦略審議会委員名簿（2019年（令和元年）7月31日現在）

	区分	法人・団体名等	役職	氏名
1	議会	市議会議員（総務企画消防委員会）	別府市議会議員	荒金 卓雄
2	議会	市議会議員（観光建設水道委員）	別府市議会議員	森山 義治
3	議会	市議会議員（厚生環境教育委員）	別府市議会議員	柘田 貢
4	学識	別府大学	教授	中山 昭則
5	学識	別府溝部学園短期大学	教授	牧 昌生
6	学識	立命館アジア太平洋大学	副学長	山本 修司
7	産業	別府商工会議所	副会頭	河村 貴雄
8	産業	株式会社 やまよし	営業部長	河内 由揮
9	産業	イロカミ		樋口 太希
10	金融	大分銀行	別府支店長	甲斐 一義
11	金融	豊和銀行	別府支店長	梶原 茂樹
12	金融	大分みらい信用金庫	常務理事	嵩地 秀雄
13	金融	大分県信用組合	別府支店長	原 和範
14	労働	連合大分東部地域協議会	副議長	梶原 悟
15	言	大分合同新聞社	報道部長	首藤 康
16	観光	ホテル白菊	代表取締役社長	西田 陽一
17	観光	社団法人 ジャパン・オンパク	代表理事	鶴田 浩一郎
18	観光	鉄輪ツーリズム	代表	安波 治子
19	福祉	社会福祉法人 別府市社会福祉協議会	常務理事	釜堀 秀樹
20	福祉	社会福祉法人 泰生会	理事長	雨宮 洋子
21	福祉	社会福祉法人 太陽の家	法人本部長	四ツ谷奈津子
22	健康	別府市医師会	会長	矢田 公裕
23	健康	一般社団法人 別府市老人クラブ連合会	事務局長	安部 新太郎
24	教育	別府市PTA連合会	会長	大塚 俊夫
25	芸術	NPO法人 BEPPU PROJECT	代表理事	山出 淳也
26	協働	別府市自治委員会	会長	塩地 奎三郎
27	学生	別府大学	国際経営学部4年	長尾 夕華
28	学生	別府溝部学園短期大学	食物栄養学科2年	平野 絢音
29	学生	立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋学部3年	内山 浩揮
30	学生	立命館アジア太平洋大学	国際経営学部2年	田中 琴音

3 審議会経過等

年月日	内容	場所
令和元年7月31日	第1回審議会	市役所5階大会議室
8月26日	第1回策定委員会専門部会	市役所1階レセプションホール
9月13日	第2回策定委員会専門部会	市役所1階レセプションホール
9月26日	第2回審議会	市役所1階レセプションホール
9月26日 ～10月10日	市民アンケート実施	市民3,000人対象に実施 郵送法
10月6日	第1回市民拡大版	市役所5階大会議室
10月16日	第3回策定委員会専門部会	市役所1階レセプションホール
10月30日	第3回審議会	市役所1階レセプションホール
11月12日	第4回策定委員会専門部会	市役所1階レセプションホール
11月27日	第4回審議会	市役所1階レセプションホール
12月8日	第2回市民拡大版	市役所1階レセプションホール
12月10日	第5回策定委員会専門部会	市役所1階レセプションホール
12月25日	第5回審議会	市役所1階レセプションホール
12月26日	答申	
令和2年1月27日	策定委員会	
2月3日～19日	パブリックコメント実施	市ホームページのほか 市内各所にて実施

4 策定体制



5 策定委員会専門部会名簿(2019年(令和元年)8月26日現在)

部名	課名	補職名	氏名
総務部	総務課	主査	山下 泰巨
	職員課	主査	甲斐 健太郎
	資産税課	主任	後藤 亮太
	債権管理課	主査	大嶋 健司
企画部	財政課	主査	加藤 エミ
	情報推進課	主任	明田 舞子
	情報推進課	主事	今吉 翼
	広域圏事務局	主査	小石 洋子
観光経済部	観光課	主査	後藤 真由美
	温泉課	主査	芝尾 裕子
	文化国際課	主査	清田 由記子
	RWC2019推進室	主任	竹枝 摂
経済産業部	産業政策課	主査	皆本 博之
	産業政策課	主任	安部 裕紀
	農林水産課	主任	後藤 雅孝
	公営競技事務所	主査	小原 賢志
生活環境部	市民課	主査	河野 博文
	環境課	主査	忠願寺 貴博
	環境課	主任専門員	齋藤 佑一
	保険年金課	主任	糸山 隆志
福祉保健部	福祉政策課	主査	中原 美紗
	ひと・暮らし支援課	主任	鳴海 泰寛
	障害福祉課	主査	長篠 裕子
	子育て支援課	主査	山本 充児
	高齢者福祉課	主査	加藤 雄海
	健康づくり推進課	主査	湯浅 玲子
建設部	都市政策課	主任	宮崎 哲平
	都市整備課	主査	山下 恭助
	施設整備課	主査	佐藤 伸太郎
	建築指導課	主査	山本 健太郎
共創戦略室	秘書広報課	主任	橋本 寛子
	自治振興課	主査	福島 淳子
	防災危機管理課	主査	江藤 慎一郎
	公民連携課	主査	入田 浩昭
教育委員会	教育政策課	主査	甲斐 俊平
	学校教育課	主査	橋本 陽子
	社会教育課	主査	尾崎 美由紀
	スポーツ健康課	主査	明珍 理恵
その他部局	議事総務課	主査	松尾 麻里
	監査事務局	主査	溝部 敦司
消防本部	消防本部警防課	消防主査	高橋 裕昌
	消防本部予防課	消防主任	井上 大輔
水道局	総務課	主査	菅 寛子
	工務課	主査	林 和人

6 関連計画一覧(2020年(令和2年)3月現在)

番号	計画名	所管課	策定年月	計画始期	計画終期	関連施策	備考
1	まち・ひと・しごと創生 別府市人口ビジョン	総合政策課	2020年3月改訂	2015年度	2060年度	全般	
2	まち・ひと・しごと創生 第2期別府市総合戦略	総合政策課	2020年3月	2020年度	2024年度	全般	
3	別府ツーリズムバレー構想	産業政策課	2020年1月	—	—	1-1産業振興	
4	農業経営基盤の強化に関する基本的な構想	農林水産課	2014年9月	2014年度	2023年度	1-1産業振興	
5	別府市農業再生協議会水田フル活用ビジョン	農林水産課	2018年2月	2018年度	2020年度	1-1産業振興	
6	別府市森林整備計画	農林水産課	2019年4月	2019年度	2028年度	1-1産業振興	
7	浜の活力再生プラン	農林水産課	2020年3月	2020年度	2024年度	1-1産業振興	
8	別府市屋外温浴施設基本構想	温泉課	2020年3月	2019年度	—	1-2観光	
9	国民保養温泉地計画	温泉課	1985年3月	—	—	1-2観光	改訂予定 (時期未定)
10	湯のまち別府健康2.1(第二次) (健康増進計画・食育推進計画)	健康づくり推進課	2012年3月	2012年度	2021年度	2-1健康	別府市地産地消 推進計画を含む
11	第2期別府市データヘルズ計画	保険年金課	2018年3月	2018年度	2023年度	2-1健康	
12	特定健康診査等実施計画(第3期)	保険年金課	2018年3月	2018年度	2023年度	2-1健康	
13	別府市国民健康保険事業計画	保険年金課	2019年3月	毎年度		2-1健康	毎年度策定
14	別府市国民健康保険保健事業実施計画	保険年金課	2019年4月	毎年度		2-1健康	毎年度策定
15	別府市スポーツ推進計画	スポーツ健康課	2022年3月(予定)	2022年度	2026年度	2-1健康	
16	別府市地域福祉計画	福祉政策課	2018年3月	2018年度	2020年度	2-2福祉	
17	別府市第7期老人福祉計画・第7期介護保険事業計画	高齢者福祉課	2018年3月	2018年度	2020年度	2-2福祉	
18	別府市障がい者計画(第3期)	障害福祉課	2015年3月	2015年度	2020年度	2-2福祉	
19	別府市障がい福祉計画(第5期)	障害福祉課	2018年3月	2018年度	2020年度	2-2福祉	
20	別府市障がい児福祉計画(第1期)	障害福祉課	2018年3月	2018年度	2020年度	2-2福祉	
21	別府市子ども・子育て支援事業計画	子育て支援課	2020年3月	2020年度	2024年度	2-2福祉 3-1子育て	
22	別府市教育大綱	総務課 教育政策課	2016年6月	2016年度	2020年度	3-2教育 3-3生涯学習	
23	別府市教育行政基本方針	教育政策課	2019年2月	毎年度		3-2教育 3-3生涯学習	毎年度策定
24	別府市学校教育施設等長寿命化計画	教育政策課	2018年度	2019年度	2048年度	3-2教育	
25	別府市子どもの読書活動(第2次)推進計画	社会教育課	2016年5月	2016年度	2020年度	3-3生涯学習	

番号	計画名	所管課	策定年月	計画始期	計画終期	関連施策	備考
26	別府市国土利用計画	都市政策課	2004年3月	—	—	4-1都市基盤	基準年は2000年
27	別府市都市計画マスタープラン（改定版）	都市政策課	2011年4月	2011年度	2030年度	4-1都市基盤	
28	別府市交通バリアフリー基本構想	都市政策課	2005年3月	2005年度	—	4-1都市基盤	
29	別府市景観形成マスタープラン	都市政策課	2007年3月	—	—	4-1都市基盤	
30	別府市景観計画	都市政策課	2009年4月	—	—	4-1都市基盤	
31	別府市立地適正化計画	都市政策課	2021年1月（予定）	2021年度	—	4-1都市基盤	策定中
32	別府市緑の基本計画	公園緑地課	2007年3月	2007年度	2025年度	4-1都市基盤	
33	別府市公園施設長寿命化計画	公園緑地課	2014年3月	2014年度	2024年度	4-1都市基盤	2022年度 見直し予定
34	別府市橋梁長寿命化修繕計画	都市整備課	2012年3月	2012年度	—	4-1都市基盤	2020年度 見直し予定
35	別府市公営住宅等長寿命化計画（改定）	建築指導課	2016年2月	2016年度	2025年度	4-1都市基盤	
36	別府市空き家等対策計画	建築指導課	2017年3月	2017年度	2021年度	4-1都市基盤	
37	別府市地域公共交通網形成計画	総合政策課	2016年3月	2016年度	2020年度	4-2公共交通	
38	別府市地域公共交通アクションプラン	総合政策課	2017年3月	2017年度	2020年度	4-2公共交通	
39	別府市水道事業ビジョン	水道局	2018年3月	2017年度	2026年度	4-3水道・生活排水処理	
40	別府市水道事業経営戦略	水道局	2018年3月	2017年度	2026年度	4-3水道・生活排水処理	
41	別府市水道事業第8期拡張基本計画	水道局	2017年3月	2017年度	2030年度	4-3水道・生活排水処理	
42	アセットマネジメント	水道局	2017年3月	—	—	4-3水道・生活排水処理	
43	別府市生活排水処理施設整備構想	下水道課	2020年3月	2020年度	2072年度	4-3水道・生活排水処理	
44	別府市公共下水道事業計画	下水道課	2016年3月	2016年度	2021年度	4-3水道・生活排水処理	
45	別府市公共下水道ストックマネジメント計画	下水道課	2017年12月	2018年度	2021年度	4-3水道・生活排水処理	
46	別府市公共下水道長寿命化計画	下水道課	2013年3月	1993年度	2020年度	4-3水道・生活排水処理	
47	別府市下水道事業業務継続計画（地震・津波災害版）	下水道課	2016年3月	2016年度	—	4-3水道・生活排水処理	
48	別府市公共下水道 処理場及びポンプ場 耐震・耐津波計画	下水道課	2016年3月	2016年度	2028年度	4-3水道・生活排水処理	
49	一般廃棄物（生活排水）処理基本計画	環境課	2015年3月	2015年度	2039年度	4-3水道・生活排水処理	

番号	計画名	所管課	策定年月	計画始期	計画終期	関連施策	備考
50	別府市環境基本計画（第2次）	環境課	2011年3月	2011年度	2020年度	5-1環境	
51	別府市環境目標達成プラン（第2次）	環境課	2015年3月	2015年度	2020年度	5-1環境	
52	大分県別府市アライグマ防除実施計画書	環境課	2012年3月	2012年度	2020年度	5-1環境	
53	別府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	環境課	2019年3月	2019年度	2030年度	5-1環境	
54	別府市地球温暖化対策率先実行計画（第4期）	環境課	2020年4月	2020年度	2025年度	5-1環境	
55	別府市グリーン購入調達方針	環境課	2020年4月	2020年度	2025年度	5-1環境	
56	別府市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	環境課	2015年10月	2015年度	2039年度	5-1環境	
57	別府市分別収集計画（第9期）	環境課	2019年6月	2020年度	2024年度	5-1環境	
58	別府市災害廃棄物処理基本計画	環境課	2015年1月	—	—	5-1環境	
59	別府市地域新エネルギービジョン	環境課	2015年3月	2015年度	2020年度	5-1環境	
60	別府市地域防災計画	防災危機管理課	2019年3月	—	—	5-2安全安心	
61	別府市国民保護計画	防災危機管理課	2007年3月	—	—	5-2安全安心	
62	別府市交通安全計画（第10次）	防災危機管理課	2016年3月	2016年度	2020年度	5-2安全安心	
63	消防体制の充実計画	消防本部庶務課	2015年度	2016年度	2020年度	5-2安全安心	
64	応急手当普及啓発活動計画	消防本部庶務課	2015年度	2016年度	2020年度	5-2安全安心	
65	別府市人権教育及び人権啓発基本計画	人権同和教育啓発課	2007年2月	2007年度	—	6-2人権・男女共同参画	
66	別府市人権教育・啓発実施計画（第3次）	人権同和教育啓発課	2016年3月	2016年度	2020年度	6-2人権・男女共同参画	
67	第2次別府市男女共同参画プラン	自治振興課	2011年3月	2011年度	2020年度	6-2人権・男女共同参画	
68	第3次別府市行政改革大綱	総合政策課	2017年12月	2018年度	2022年度	7-1市政運営	
69	第4次別府市行政改革推進計画	総合政策課	2018年3月	2018年度	2022年度	7-1市政運営	
70	別府市税徴収方針	債権管理課	2019年8月	2019年度	—	7-1市政運営	
71	別府市公共施設マネジメント基本方針	公民連携課	2015年4月	2015年度	2044年度	7-1市政運営	
72	別府市公共施設等総合管理計画	公民連携課	2016年4月	2015年度	2064年度	7-1市政運営	
73	別府市公共施設再編計画	公民連携課	2017年3月	2017年度	—	7-1市政運営	
74	別府市公共施設保全実行計画	公民連携課	2018年6月	2019年度	2048年度	7-1市政運営	
75	別府市人材育成基本方針（一部改定）	職員課	2015年4月	—	—	7-1市政運営	
76	別府市定員適正化計画（第2次）	職員課	2012年3月	2012年度	2021年度	7-1市政運営	
77	別府市特定事業主行動計画（第3期）	職員課	2015年4月	2015年度	2020年度	7-1市政運営	
78	女性活躍推進法に基づく別府市特定事業主行動計画	職員課	2016年4月	2016年度	2020年度	7-1市政運営	

第4次別府市総合計画

発行年月：令和2年3月

発行：別府市企画部総合政策課

〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号

TEL (0977) 21-1122

E-MAIL : pco-pf@city.beppu.lg.jp



別府市